日本歯科医史学会会誌・第8巻
第2号通巻27号・昭和56年1月

特別講演

医学・歯学・薬学のシンボル「蛇杖」

古川　明

1. アスクレピオスとヘルメスの蛇杖

医学・歯学・薬学のシンボルには，アスクレピオスの蛇杖とヘルメスの蛇杖があるが，一括して「医術のシンボル」と略称し，また「蛇杖」を「杖」と略称する．ヘビだけを医術のシンボルとすることはあるが，杖だけをシンボルとすることはまれである．

アスクレピオスはギリシァの医神で，その杖には1匹のヘビがからみつき，医術のシンボルとして，健康から不老・不死までを象徴する．ヘルメスは商業・通信・交通などの神で，その杖には2匹のヘビがからみつき，幸福・平和などを象徴する．ヘルメスの杖は「カドゥセウス」(神の杖，聖蛇の杖，伝令の杖の意）と称し，この杖の上端には翼のついていることが多い．医術のシンボルは，元来はアスクレピオスの杖だったが，ルネサンス期からヘルメスの杖と混同され，現在は両者とも医術のシンボルとして用いられている．しかも，ともに「カドゥセウス」とよばれることがあるが，「カドゥセウス」は元来ヘルメスの杖のことをいう．

2. 蛇と杖

古くからヘビに関する概念は悪と善の二面で象徴されてきた．悪の面では，恐怖・排斥・誘惑・邪悪・戦い・死亡などの象徴となり，善の面では，再生（脱皮）復活・守護・魔力・崇拝・神秘・賢慮などを象徴し，呪術・医術の象徴ともなった．ミノア期（前1500年ごろ）には守護的意味で，家屋内のヘビ信仰の風習があり，ギリシァでは，アスクレピオスをはじめ，ヒギエイア，ゼウス，アポロン，アテナらの神にヘビを配し，聖蛇とした．ヒギエイアはアスクレピオスの娘で，衛生の神である．彼女はその杖でヘビを飼育したので，「ヒギエイアの杖」が衛生や医術のシンボルとなり，この杯は「アスクレピオスの杖」ともよばれる．

杖といえば，病者，身障者，盲人，老人らの実用的支持具を考えがちだが，ここでは地上に生える植物的生命を象徴するものとみた方が意義がある．巡礼の杖，牧羊杖，魔法や魔術の杖，占者の杖，仏僧の魔除け杖，キリスト教の司教杖，ヒンドゥ教の梵棒などと同様，アスクレピオスの杖は権威・命令・力などの象徴となる．アスクレピオスの杖は元来は太い棒だったが，次第に細い杖として描かれるようになった．

3. 世界の国ぐにの医術のシンボル

1956年に，キューバのハバナで開催された第10回世界医師会会議に，オランダ医師会は医術のシンボルとして，アスクレピオスの杖を正しく使用しよう，各国の医師によびかけた．国連 WHO は，地球儀を月桂樹で下からかこんだ国連のマークに，正しいアスクレピオスの杖を配して，そのマークとした．これに反して，米国や韓国の軍衛生部ではヘルメスの杖をマークとしている．そのほかの国でもこれを用いることがまれでない．歯学や薬学ではマークを変形することがある．例えばアムステルダム薬局方の扉画には，アスクレピオスの杖の一部が薬べらに代えて描かれている．

フランスでは医術のシンボルとして，アスクレピオスの杖の頭に楕円形の鏡を載せ，杖の両側に月桂樹（左）と柏（右）の枝を配している．1803年のナポレオン帝政時代の軍規に，「エピダウロスの蛇と賢慮の象徴である鏡で杖を飾る」と規定した．エピダウロスはアスクレピオスに関係深

く，その遺跡が多い所である．鏡は真実・誠実・神秘・天恵・知識・心の反映・未来の予見を象徴し，月桂樹は不滅を，柏は栄光と英知を象徴する．

4. キリスト教と蛇杖

アスクレピオスとフェニキアのエシュムン神はともに古代の病気治癒神だったが，これに劣らないのがイエス・キリストである．キリストの死後，ローマ帝国のコンスタチヌス帝は，ミラノの勅令（313年）でキリスト教を公認し，のちテオドシウス帝がこれを国教に採用して（380年），ほかの宗教を厳禁した．異端宗教のアスクレピオス神殿は壊滅され，以後中世にはアスクレピオスは全く忘れ去られてしまった．

古くからキリスト教徒には，「モーゼの青銅の蛇」が知れわたり，ペストが流行したときには，これがお守りとして作られた．文芸復興期になってから，ミケランジェロがバチカン宮のシスティナ礼拝堂の天井に描いたモーゼの青銅の蛇は，アスクレピオスの蛇杖と区別できないほどよく似ていた．ギリシァ文化が再認識された時期だったので，そのころからアスクレピオスの杖が復活しはじめ，現在はキリスト教の医師団でも，これをマークに配している．

5. むすび

医術のシンボル「蛇杖」は，全世界の進歩した現代医学のルーツを示すものであるから，これを正しく理解，認識して，ながく後世に伝えるべきであろう．

（篠原病院）

特別講演

中国口腔医学発展簡史

周　大成

口腔疾患は人類の早期に罹患する疾患の一種であって，北京附近の周口店で発見した約50万年前の北京原人及び約1万年あまり前の山頂洞人顎骨には既に歯周病を患った痕跡が見られた．

中国科学院考古研究所が河南省成皋広武鎮で発現した新石器時代晩期の墓穴の中の15体の人骨の口腔には7体が齲歯を有し，10体が歯周病を有していた．歯牙の磨耗により歯髄が壊死し，根端疾患を有する個体が5例もあり，智歯周囲炎の症例も見られた．これらの所見に依ると，中国においては，旧石器時代及び新石器時代には口腔疾患が相当に存在していたことが認められた．

口腔疾患に関する最も古い記録は殷代の首都であった河南省安陽県の殷虚で発掘された今より3,000年あまり前の甲骨文の卜辞で見られるので，歯牙に関するものだけでも50片以上に達している．

中国科学院考古研究所が河南省安陽で殷代の奴隷と自由平民及び奴隷主の小型の墓葬を発掘した．その発掘した人体の齲歯及び歯周病を調査して見ると，歯周病は男性が女性より高く，齲歯は女性が男性より高いことが分った．

我国の最も古い医籍である“内経”には口歯方面に関する論述が数多く記載している．例えば乳歯及び永久歯の萌出期並に交換期が非常に近代の統計に符合している．

古人は歯牙を潔白，整斉にして容貌を美しくすることに注意した．“丹脣外朗，皓歯内鮮”（洛神賦），“明眸皓歯”（杜詩）等は人類の奇麗な歯列に対して讃美している句であり，歯列不正を齟齬と称していた．

周礼に“雞始鳴，咸盥漱”と云う記載があり，含漱することは古人の良き習慣であったことがわかる．

紀元前2世紀，即ち西漢初年の名医であった淳于意が我国最初の齲歯症例を報告し，当時は病誌